

2019.11.20 (水) 13:30～17:00

会場 ▶ 香川大学幸町キャンパス(高松市幸町1-1)
研究交流棟5階 研究者交流スペース

対象 ▶ 一般公開

<開催の目的>

南海トラフの巨大地震災害の発生により、被害は個々の組織に止まらず四国地域全体に及ぶ恐れがあり、四国が機能不全に陥る恐れが予想されます。このような事態に対応するため「香川地域継続検討協議会」では、連携を前提とした戦略的な取り組みとして地域継続計画(District Continuity Plan: DCP)を策定推進してきました。本取り組みは「四国地震防災基本戦略」に位置付けられています。

このような観点から香川大学では、これまで協議会の事務局機能を担ってきた危機管理研究センターを再編整備し、全学体制でこの計画を推進できるよう新たな組織として「四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構」を平成28年度に設置し、3年間活動を実施してきました。

本シンポジウムでは、香川地域の重要機能を担う組織が集う「香川地域継続検討協議会」の活動報告とあわせて、この取り組みが四国全体の地域継続力向上に寄与するための方策を考える場とします。

～ Program ～

13:30～

【挨拶】

◆野本 粹浩(国土交通省四国地方整備局 統括防災官)

13:40～14:00

【第1部】活動報告

◆白木 渡

(香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長
危機管理先端教育研究センター長・特任教授)

『四国の地域継続力向上を目指して

～香川地域継続検討協議会の活動報告～』

◆金田 義行

(香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長
地域強靱化研究センター長・特任教授)

『減災科学の推進に向けて(仮題)』

14:10～16:50

【第2部】パネルディスカッション

『みんなでつくる地区防災計画 ～地域コミュニティの継続を目指して～』

テーマ①「平成30年7月豪雨災害をふまえた地区防災計画の現状と課題」

テーマ②「地区防災計画に必要なヒト・モノ・コト+α」

<話題提供>『西日本豪雨における対応(仮題)』

◆高津智子氏(倉敷市立蘭小学校長)

<登壇者>

◆芝 大輔氏(松山市総合政策部 危機管理課 主幹)

◆蔭原政徳氏(松山市高浜地区自主防災連合会 会長)

◆近藤 騰氏(香川県防災士会)

◆織田浩幹(香川県危機管理総局危機管理課防災企画グループ課長補佐)

◆金田義行(香川大学地域強靱化研究センター長・特任教授)

<コーディネーター>

◆白木 渡(香川大学危機管理先端教育研究センター長・特任教授)

16:50～17:00

【挨拶】

◆白木 渡

(香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長)

地域コミュニティの継続

香川地域継続検討協議会 設立7周年記念シンポジウム

入場無料

定員100名
要申込

主催 : 香川地域継続検討協議会

共催 : 四国南海トラフ地震対策戦略会議、土木学会安全問題研究委員会

お問合せ・お申込みは裏面を参照してください。

地域コミュニティの継続
～ 香川地域継続検討協議会 設立7周年記念シンポジウム～

参加申込書

FAX 087-864-2549

◆ 申込方法 電話、FAXまたはEメールでお申し込みください。

所属	氏名	連絡先	懇親会出欠
			出席 / 欠席

※ご記入いただく個人情報につきましては、今回のシンポジウム以外の目的で利用することはありません。
※定員になり次第締め切らせていただきます。

懇親会：シンポジウム終了後 17：30より
会場：オリーブスクエア 空海（香川大学幸町キャンパス内）
会費：2,500円程度

（お問合せ・お申込み先）

香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 企画調整室

〒761-0396 香川県高松市林町2217-20

TEL：087-864-2544 FAX：087-864-2549

E-mail：kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp



研究交流棟5階
研究者交流スペース